

若き姿の文芸

小川未明

青空文庫

主義を異にし、主張を異にしている作家は、各自の天分ある主観によつて人生を異つた方面から解釈している。材料を異つた方面から採つて来ている。或主義と或主義と相容れないのは、人生に対する解釈が異い、^{ちが}観方が異うからである。或る作家は社会に生起する特殊の材料を取り扱い、或る作家は、永久に不変の自然を材料に取扱つている。畢^{ひつきよう}竟、作家得意の観察から入り、深く人生に触れんとする努力から斯^かく異つた態度を示すのである。是等の異つた作家が各々異つた意義と形の上で異つた印象を人に与うるのに異論がない。

故に、各派の芸術が主張する、主義、態度、即ち人生の批評に

関しては容易に善悪を判ずることが出来ないばかりか、何人と雖いえども、少くも既に主義となつて形成せられた現在の文芸の主義に対して、根本的に其の主義の善悪を言うことは間違つている。其の批評家には、未だ其れを言うだけの權威と資格が足りないと思う。

理想主義、自然主義、享樂主義、等に関し、我が文壇の批評家は、今迄世間に現われている其れ等の作の効果を以て、其の主義の根本の主張、及び人生觀に関して是非するには尚お早い。何の主義によらず唱えらるゝに至つた動機、世間が之を認めたままでは、痛切な根柢と時勢に対する悲壯な反抗と思想上の苦闘があつたことを知らなければならぬ。だから、批評家が一朝机上の感想で、之を破壊することは不可能であるし、また無理だと思ふ。

茲では、其の事について云うのでない。要は、理想主義によらず、自然主義によらず、享樂主義によらず、主義と其の主張を問うのでなく、芸術品として出来上ったものに対して、等しく吾人に与えなければならぬものがあると思う。

即ち『若やかな姿』である。是れ芸術品の吾人に与える本来の感じであると思う。無興味、無理想、無解決を根柢にした作物にせよ、何処にか『若やかな姿』を見出さなければ芸術品として劣等なものだと思ふ。

主義、主張と、芸術品を製作する時との感興は別でなければならぬ。製作家が感興に満ちていなければ、作品に光の出る理由がない。製作家の頭が活々として、真に感じ、真に動かされた事実

であつたなら、たとえ技巧が拙であつても尚お、輝きと、此の若やかな姿とを持つている。

すべての芸術は、広義の意味のヒュマニテイに立脚している。知的分子もあるに相違ないが、情緒の加わらぬ芸術はない。此の意味に於て芸術は、常に永久性を持つているものである。芸術の与うる感じは愉悅の感じでなければならぬ。男性的のものゝ中にも女性を帯びたものでなければならぬ。言を換えていえば芸術の姿其れ自身が本来女性的であると思う。

或る芸術品に対した時、其の作品から吾人は何等の優しきも、若やかな感じも与えられず、あた恰かも砂礫のような、乾固したものであつたなら、其れは芸術品としての資格を欠くと謂い得る。芸

術には『冷^{つめ}たな』芸術がある。たとえ冷^{つめ}たな芸術品でも優しきと若やかな感じとは具えていなければならぬ。『冷^{つめ}たな』とは作者の特質である。優しきと若やかな感じとは芸術本来が有^もつべき姿である。これを文芸について云えば、色彩描写たると平面描写たるとは問題でない。其れが芸術品として成上つた時に於て、果して若やかな感じ即ち愉悦の情を見る人に与うるか、作品としての価値如何^{いかに}である。堅苦しく、行き詰つたような、乾き切つた感じを与うるものは芸術本来の姿であるまいと思う。技巧によつて死んだ思想を活かそうとするのは無益なことだ。露^ろ西^し亜^あの作家が平凡生活を書き、暗黒描写をして、尚お以上の愉悦の感興を与うるのを偉^いとするものである。

青空文庫情報

底本：「芸術は生動す」国文社

1982（昭和57）年3月30日初版第1刷発行

底本の親本：「夜の街にて」岡村盛花堂

1914（大正3）年1月5日初版

入力：Nana ohbe

校正：仙酔あびす

2011年11月30日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www>

W.aozora.gr.jp) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランテイアの皆さんです。

若き姿の文芸

小川未明

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>